



「新入生歓迎の言葉」

岩手県立農業大学校 校長 竹 澤 利 和

新入生40名の皆さんを、職員一同、心から歓迎いたします。

現在、農業を取り巻く環境は、担い手の減少・高齢化、経済のグローバル化の進行に加え、頻発する気象災害、生産資材価格の高騰など大きく変化していますが、本県の農業は、食品産業や観光業など他産業への波及が大きい裾野の広い産業であり、地域経済を支える基幹産業として、将来にわたり持続的に発展していくことが重要です。

本校は、高度な専門的知識と技術、幅広い教養、国際性を身につけた農業・農村の担い手を育成し、社会の期待に応えていくという大きな使命を有し、豊かな創造力と感性を持った優れた人材の育成に取り組んでいます。

大学校での2年間は、瞬く間に過ぎていきます。新入生の皆さんは、それぞれが持つ目標の達成に向け、あらゆる分野で自己の可能性に挑戦し、豊かな感性、自ら考え行動する主体性、あきらめない粘り強さを磨き上げていくように、濃密な学生生活を送っていただきたいと思います。

岩手県立農業大学校は、皆さんの目標達成と社会に貢献できる人材に成長できるよう、できる限りの支援をさせていただきますので、ともに本県農業の持続的な発展に向けて歩を進めていきましょう！！



学生自治会長として

学生自治会長 千田 小百合（果樹経営科2年）

1年生の皆さん、御入学おめでとうございます。私たちは皆さんを心より歓迎いたします。

学校や寮生活等で

不安を感じると思いますが、困ったときは気軽に聞いてください。私は、学生自治会長として皆さんが楽しく、充実した学校生活を送れるよう一生懸命サポートしていきます。自治会では、積極的に意見・提言を集め今後の活動や行事に反映させていきたいと思っています。また、今年の「スポーツ大会」や「農大祭」などの行事では、昨年とは趣向を変えて、さらに充実した内容で皆さんに楽しんでいただけるよう企画・運営に努めていきたいと考えています。皆さんも積極的に意見を出して一緒により良い学校を作っていきましょう！



農業大学校へようこそ！（2年生51名）

新 入 生 メ

農産経営科



農産経営科1年 伊藤 輝哉（いとう てるや）

父の実家の祖父母の働く姿に心打たれ農業の道を志しました。

学内生活は同じ志をもつ楽しい仲間と共に毎日生活しています。最初は不安だった寮生活も先輩方の手助けもあり、充実した日々を送っています。そして勉強以外にも自主性や人とのコミュニケーション能力の向上、自立心などといった社会の一員になる上で必要なことを身をもって知ることでもあります。2年間という短い期間、後悔無く立派な農業人としてやっていくためにも今後とも励んでいきます。

農産経営科1年 西野 颯（にし の はやて）

高校でも農業について学習しましたが、土壌学や昆虫学など学んでこなかった分野を学習でき、農業の視野が少しずつ広がっていると感じています。1年生の時から実習も多く、水管理も自らが行います。

入寮前は寮の規則が厳しいイメージや同級生・先輩との共同生活になじめるか、かなり不安でしたが、一切そんなことはなく基本的に自由で先輩も優しく、のびのびと生活しています。

2年間という短い期間ですが専門的な農業技術を身に着けるとともに資格取得に努めていきたいです。

野菜経営科



野菜経営科1年 千葉 賢一（ちば けんいち）

家業のいちご農家を継ごうと思い、農業大学校に入学しました。

入学当初は寮生活ということもあり、不安もありましたが、1週間もあれば案外なれるものでした。困ったときは先輩が教えてくださるため、楽しく生活しながらのびのびと学ぶことができます。

2年という短い時間ですが、栽培技術や経営などについて学びつつ、資格もたくさん取得して、将来のために頑張りたいです。

野菜経営科1年 山下 光（やました ひかる）

私は農業高校出身で高校の時も農業について学習してきました。農大に入学して実際に講義や実習を受けてみると自分が知らなかった農業の知識などを沢山知ることができています。

一番不安だったのは寮生活でした。しかし、入寮日から優しく丁寧に教えてくださる先輩方のおかげで楽しい寮生活を送ることができています。2年間という短い期間ですが、色々なことに挑戦してこの素晴らしい農大で沢山学んで頑張っていきたいです。

果樹経営科



果樹経営科1年 小山 功雅（おやま こうが）

私は普通科の高校に通っていたため、講義内容についていけるか不安でした。しかし、農業大学校の先生方は優しく、丁寧に教えてくださるため農業初心者でも楽しく学ぶことができます。

農業大学校での生活は2年間と短いですが、将来の農村社会への貢献のためにも仲間たちと協力しながら、果樹栽培の技術や経営に関しての知識をしっかりと学び、充実した日々を送っていきたく思います。

果樹経営科1年 水本 一真（みずもと かずま）

私の家は紫波町で父がリンゴ農家を営んでいます。高校で農業について学びましたがさらに知識を身に付けたいと考え、農業大学校に進学しました。

入学当初は人間関係や新しい環境に不安がありました。しかし、今は、先輩方や先生に様々なことを教わり、友達と助け合いながら日々楽しく過ごしています。2年間という短い期間ですが、知識や技術を吸収して、将来に生かしたいです。

ツ セ ー ジ

花き経営科



花き経営科1年 阿部 樹里（あべ じゅり）

私は、フラワー装飾技能士の資格をとるために農業大学校に入学しました。慣れないことだらけで不安が多くありましたが、友だちや先輩方に教えてもらいながら生活できています。

授業を通して、花の知識や経営、技術を学び、人とのコミュニケーションを取れるようにしたいと思います。フラワー装飾以外の資格も取ることができればと思います。

花き経営科1年 大村 はる（おおむら はる）

私は、将来花に携わる仕事がしたいと考え、農業大学校に入学しました。入学当初は、専門的な農業の授業や、慣れない寮生活など大学生活に大きな不安を抱いていました。しかし、周囲の友達や先輩、先生方の支えのおかげで、しだいに農大での生活に慣れることができ、今では充実した大学生活を送っています。

これからも、多くの仲間と支え合いながら、将来に向けて努力していこうと思います。

酪農経営科



酪農経営科1年 阿部 誠也（あべ せいや）

私は、自分自身で酪農を営みたいと思い農業大学校に入学しました。入学当初は、周りと上手くコミュニケーションを取ることができず、また初めての県外での寮生活にて楽しく充実した生活ができるか不安でした。

最初は、寮の生活に戸惑っていましたが、同級生や先輩方に話しかけてもらえ、段々慣れてゆき楽しく充実した寮生活を過ごせるようになりました。

2年という短い時間ですが、酪農の技術・知識を身に付けていきたいと思っています。

酪農経営科1年 近江 陽太（おうみ ようた）

農大に入学した時は、全てが分からないことだらけで、緊張と不安で一杯でしたが、先生や先輩の教えのおかげで緊張が次第にほぐれました。寮生活も最初はドキドキしましたが、今はすっかり慣れました。友人も増え、今は充実した生活を送っています。

2年間という短い期間ですが、自分の将来に向けて、益々頑張っており組んで行こうと思っています。

肉畜経営科



肉畜経営科1年 井上 爽和（いのうえ さやか）

私は非農家ではありますが、幼いころから農家である祖父母の手伝いをしていたことや動物が好きという理由で農業に興味を持ちました。農業大学校では、高校で学んだことをさらに深掘りして学べるのがとても楽しいです。また実習が多く、机に向かって学ぶよりも体で学んで覚えることができるのが私に合っていると感じ、日々充実しています。今後も座学、実習ともに学びを深めていき、将来の糧となるように頑張っていきたいと思っています。

肉畜経営科1年 及川 ゆめ（おいかわ ゆめ）

私の家は繁殖農家をやっており、もっと経営を楽しみたいと思い、農業大学校でおこなっているスマート農業を学びたく入学しました。スマート農業を学び、牛の状態や発情など細かく知れてとてもいいなと思いました。それから、初めて知る飼料や成分があることなど、学ぶことがまだまだ沢山あり、もっと勉強していきたいと強く思います。親からはなれて大変なことはあるけど毎日が楽しくこれからの2年間がとても楽しみです。

入学式



新入生代表による誓いの言葉



竹澤校長式辞

令和6年度入学式を4月9日（火）に挙行し、新入生40名（農産園芸学科30名、畜産学科10名）が入学を許可されました。

入学許可の際、担任からの呼名に対して一人一人から力強い返答があり、夢に向かう強い決意が感じられました。

次に、竹澤利和校長が「新入生諸君は、実践教育・先進教育・全寮制教育という本校の三つの特色をよく理解し、それぞれが持つ目標の達成に向け、あらゆる分野で自己の可能性に挑戦してほしい。」と式辞を述べました。

その後、佐藤法之県農林水産部長による知事告辞があり、御来賓の工藤大輔県議会議員から御祝辞を賜りました。

続いて、学生自治会長の千田小百合さん（果樹経営科2年）が、「皆さんを心から歓迎する。農大では、農業の基礎的な知識や技術、経営手法を学びながら、事例研究で視野を広げることができる。寮生活では、生涯の仲間をつくることことができる。二年間、仲間たちと励まし合い乗り切ってほしい。困ったときは、在校生がサポートするので、遠慮せずに声をかけてほしい。」と歓迎の言葉を述べました。

引き続き、新入生代表の山口連人さん（野菜経営科）が、「これから2年間、この緑豊かで雄大なキャンパスの中で、農業の専門知識や技術を身に付けていくことに大きな喜びを感じるとともに、農業界を担う人材になるという使命感を抱いている。私たち若い世代だからこそできること、思いつくアイデアがある。日本の農業のために何ができるのかを意識して勉強に励みたい。」と決意を述べました。

会場は、花き経営科2年の学生が見事にアレンジした多くの生花で彩られ、新入生は自らの夢と大志の実現に向けて大学校生活をスタートしました。

令和5年度卒業生49名の進路

（令和6年3月31日現在）

進路		人数	内 訳
就農		6	一関市、住田町、二戸市、一戸町、宮城県、秋田県
雇用就農 （農業法人等）		21	（一社）北上市機械化農業公社、（株）大越青果、（株）ボタジェガーデン、JAグリーンサービス花巻、（株）いやさか農園、（株）西部開発農産、ベルグアース（株）、（株）エーデルワイン、（株）菅野農園、花泉園芸、（農組）アグリドーム、（有）アグリファイン、（有）キロサ肉畜センター、胆江地区酪農ヘルパー利用組合、北日本JA畜産（株）藤沢牧場、（株）おおばファーム、（株）高田畜産、花北酪農ヘルパー組合
農業研修		0	
進学		2	秋田県立大学生物資源科学部、立正大学地球環境科学部
就職	農業団体	9	JAいわて中央、JA岩手ふるさと、JAいわて花巻、JA新しいわて、JAみやぎ登米、全農いわて
	農業関連企業等	5	クボタアグリサービス（株）、（株）みちのくクボタ、（株）いわちく
	公務員等	3	二戸市地域おこし協力隊、（独法）家畜改良センター、農研機構
	一般企業等	2	（株）小笠原プレジジョンラボラトリー、（株）コメリ

今後の主な行事予定

月 日	内 容
6月4日	農林水産部長講話
6月21日	学生自治会スポーツ大会
7月25日～8月18日	夏期休業
7月27日、8月2日	オープンキャンパス
8月27日～9月3日	海外農業研修
8月29、30日、9月2～3日	前期定期試験（本科1年）

